

事前評価個表

整理番号	20
------	----

地域（地区）名	とよた 豊田	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山口県	対象市町村	下関市ほか1市
事業実施期間	H31 ～ H35 （5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山口県の西部に位置し、西は日本海、南は瀬戸内海に面している。</p> <p>本地区の森林面積は74千ha（森林率69%）、対象民有林は73千ha（森林全体の99%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は31千ha（人工林率43%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、ピークがXI齢級となっており、利用期を迎えた森林が増加している。</p> <p>なお、間伐対象森林（Ⅲ～XII齢級）は全体の90%を占めており、健全な森林を育成していくうえで間伐等の保育が必要となっている。</p> <p>また、成熟期を迎えた森林（X齢級以上）は全体の49%を占めており、森林資源の循環利用により持続的な森林経営を行う必要がある。</p> <p>一方、本地区では、近年の林業採算性の低下や林業従事者の減少、森林所有規模が小規模零細であり施業の集約化が進まないことなどを要因として、間伐等の森林施業が遅れ、水源涵養機能等の森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。</p> <p>このため、本事業では森林資源の循環利用と森林の有する水源涵養、土砂流出防止等の公益的機能の持続的な発揮のため、施業地の集約化を図るとともに、路網整備や高性能林業機械の導入などにより低コストで効率的な作業システムにより間伐等の森林施業を計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,395ha 人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,117,571千円（税抜き 1,034,788千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 7.59$ （総便益（B）=15,825,108千円、総費用（C）=2,084,569千円）</p>
評価結果	<p>必要性：間伐対象森林を多く有し、森林の有する公益的機能の発揮のため、適切な森林整備が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：施業地の集約化や低コストで効率的な作業システムに取り組み、小規模の森林所有者が多い等の地域性への対応を図り、森林資源の循環利用等を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名： 森林環境保全整備事業

都道府県名： 山口県

地域(地区)名： 豊田^{とよた}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	8,037,452	
	流域貯水便益	800,073	
	水質浄化便益	1,848,472	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,895,400	
環境保全便益	炭素固定便益	2,420,265	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	823,446	
総 便 益 (B)		15,825,108	
総 費 用 (C)		2,084,569	
費用便益比	$B \div C = \frac{15,825,108}{2,084,569} = 7.59$		

